



みつは

笠間市立友部中学校
学校だより 第33号
令和5年9月13日(水)

1年生 がん教育講演会

9月12日(火)本校の健康教育部によるがん教育(医療教育モデル事業)を実施しました。対象学年は1年生。がんについての正しい理解と予防のため、食事や日常生活のあり方、早期発見・早期治療について学んでいきます。また、学んだことを今後の生活に生かし、命を大切にできる態度を育てることをねらいとしています。

5時間目は茨城県立中央病院消化器内科部長の天貝賢二先生による「今から始めるがん予防」6時間目は茨城がん体験談スピーカーバンクの代表の志賀さんからお話をいただきました。動画等もあり、わかりやすく説明をしていただき、早期発見の大切さや今日のお話を家族の方にも伝えることで命の大切さを改めて認識することができました。謝辞を述べた生徒もノー原稿でしっかり自分の気持ちを伝えることができ立派でした。



令和5年度全国学力学習状況調査の分析結果

4月18日(火)に実施された第3学年生徒対象の令和5年度全国学力学習状況調査の集計結果の報告がありました。本校では、国語、算数、英語で全国の平均正答率より高い値を示すことができました。校内で分析し、次のような対策をとっていきます。

【国語】①「おし量って」を「押し量って」と漢字に直す問題で漢字と送り仮名で正確に書けなかった。②現代語の「竹取物語」が古典と比較して工夫されてる点について条件を満たせず誤答になる例が多かった。(対策)①毎週行っている漢字テストでは送り仮名をつけて解答するようにする。②200字程度の短作文を書く機会を増やす。

【数学】①空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることへの理解が不足している。②図形の証明問題。(対策)①カメラの三脚が安定して立つことなど、実感を伴う理解につなげる。②図形の証明では、結論から出発するなど柔軟に構想を組み立てていく。

【英語】①まとまりのある英文を読んで、その中から筆者の考えや意見を読み取れなかった。②日常的な話題について、まとまりのある英文を書くことができなかった。(対策)①授業の中で、自分の意見プラス1文を話せるようにしていく。②英語で書く活動を行っていき、英作文の添削を行い書く力を高めていく。

【生徒質問紙からみられる課題】

- ①授業以外で家で学習する時間が少ない傾向がみられる。
- ②本を読んだり借りたりするために、学校図書館や地域の図書館を利用する割合がかなり低い。
- ③新聞を読む機会が少ない。

インターネットの検索はより面白い情報を求め、たくさんのサイトを開いていき、積み重ねができず忘れやすいです。読書は、じっくり腰をすえ、集中して向き合うことができます。読書量は財産となります。時間を有効に使って本を読んで欲しいです。